



隠岐の島の豊かな山林から川を通じて海に至る環境資源を活かした森里海フィールド実習

生物資源科学部 准教授 吉田 真明

附属生物資源教育研究センターの隠岐臨海実験所では、中国・四国地区大学間連携フィールド演習として中四国地域の国立大学農学部 of 学生を対象に、フィールド実習「隠岐の島の森里海」を開催しました。本実習では、森林科学、植物分類学、水文学、環境DNAを専門とする学内連携組織の教員と合同で行い、隠岐の島という豊かな山林から川を通じて海に至るコンパクトかつ豊富な環境資源を活かした体験型実習を提供しています。特に、日本海西部の環境汚染に関わる発展的内容を教育コースとしており、PM2.5などに付着した汚染物質が森林から水系の水-土壌-農作物-水産物を通して拡散する様子を実体験として捉える、実際に観測する環境評価実習を取り入れ、実地体験から環境評価を学ぶ機会を提供しています。

